広報みたらの杜

2022 3月号

新型コロナウイルス感染症への取組

新型コロナウイルスの感染症が世界的に広がりパンデミックとなってから 2 年が経過しました。収束するかにみえた感染が、オミクロンという変異したウイルスによって、また感染拡大という状況になり、更に変異株が見つかったり、相変わらず高齢者の重篤化も続いています。

例年であれば、冬場はインフルエンザ、通年でノロウイルスという感染症の流行に敏感になっていましたが、新型コロナウイルス感染予防として、手洗い・うがい・マスク・消毒といった対応をしてきたこの2年間は、これらの感染症がほとんど発生していません。

当施設としては、全職員、週に1度出勤前に抗原検査を実施し、感染症を持ち込まないよう努めております。

しかしながら北海道においてまん延防止措置が延長されました。

窓越し面会の再開を検討していたところではありましたが、もう 少しの間、様子を見ながら感染状況を踏まえつつ再開の協議を進 めて参ります。ご迷惑をおかけしますがご理解いただきますよう お願いいたします。

春の訪れとともに収束することを願いつつ、これからも感染予防 に努めて参ります。



着任のご挨拶

謹啓 啓蟄の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し 上げます。

さて、私こと、1月21日付けで特別養護老人ホームみたらの 杜の施設長代理兼生活相談員を拝命致しました、森岡 亮二(もり おか りょうじ)と申します。



私、平成8年4月から当法人にお世話になり、 はや25年になりました。この経験を活かし、これからも入居者様がより良い生活を送って頂けるよう一生懸命努めさせて頂きますので、何卒ご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



編集後記 新型コロナウイルス感染は、依然高止まり状態が続いています。高齢者施設はもとより、各地の小中学校でも学級閉鎖や学年閉鎖が起きていますね。早くみんなが安心した生活がおくれるといいですね



